

気候変動適応計画の策定について

令和7(2025)年2月13日(木)

みよし市経営企画部企画政策課

ゼロカーボン推進室 福上



面積 32.19 km²

人口 61,408人 (2025.1月1日現在)

平均年齢 42.3歳 (2020.国勢調査)

主要産業 自動車関連産業

特産品 柿・梨・ぶどう



産業・自然・文化などの調和のとれた
住環境に恵まれたまち



現行計画の改定が必要

⇒「緩和策」と「適応策」の両輪で地球温暖化対策を実施する。

みよし市地球温暖化対策実行計画

(区域施策編・事務事業編)

令和3(2021)年3月策定

みよし市ゼロカーボンシティ推進計画

令和7(2025)年3月策定(改定)予定

課題

- ◆CO₂削減目標の更新が必要
- ◆実行性に不安
- ◆「緩和策」のみの計画



改定

ポイント

- ◆野心的なCO₂削減目標の設定
⇒2030年度までに50%以上のCO₂排出量削減など
※新たな国の削減目標(予定)も勘案して設定
- ◆具体的な取組指標とCO₂削減量との紐づけ
⇒2030年削減目標達成までのロードマップを作成
「省エネ・再エネ・新技術」の3本柱と7つの施策
- ◆「気候変動適応計画」を包含した計画として策定
⇒「緩和策」と「適応策」の両輪でゼロカーボンシティを目指す

各課で実施する取組の整理

⇒「**適応策**」として**一体的な整理**を行い、職員の共通理解を図る。

雨水ポンプ場の整備

(下水道課)



ハザードマップ作成

(防災安全課)

カメムシによる
農作物被害対策

(産業振興課)



学校体育館への
エアコン設置

(学校教育課)



整理

気候変動適応計画

- ◆ 農業分野（水稻・果樹）
 - ・カメムシによる農作物被害対策
 - ・品種改良の研究、植え付けや収穫時期の検討・・・
- ◆ 自然災害（内水・洪水）
 - ・雨水ポンプ場の整備、ハザードマップ作成
 - ・災害廃棄物処理訓練、雨水浸透施設整備・・・
- ◆ 健康（熱中症等）
 - ・学校体育館へのエアコン設置
 - ・クーリングシェルの指定、高齢者宅訪問・・・

- ・地球温暖化対策として認識
- ・関係課で円滑な連携が図れる

計画策定に当たって①

「地域気候変動適応計画策定マニュアルー導入編ー」の活用 ⇒情報整理シート及び庁内コミュニケーションシートを活用する。

地域気候変動適応計画策定マニュアル
ー導入編ー

情報整理シート

分野	大項目	項目	【STEP2】 これまでの気候変動 影響の整理		【STEP3】 将来の気候変動 影響の整理	【STEP4】 影響評価の実施		【STEP5】 既存施策の気候変動影響への対応力の整理		【STEP6】 適応策の検討
			2-1	2-2	2-1	4-1	4-2	5-1	5-2	
			これまで に生じて いる気候 変動影響 を整理	2-1の原因 となる 気象現象 を整理	2-1が将来どの ような状況に なるのか整理	STEP3につ いて、重要 性・優先性・ 緊急性・確 信度を整理	優先的に取 組むとされ た気候変動 影響 ○優先的に 取り組む ー：見送り	-2-1への既 存施策や 過去の対 処方法を 整理 ・施策の立 案の基準 となった 数値があ れば整理	既存施策が STEP3 十分に対 応力を有 するの を整理	既存施策の 対応力の 確認に おける情 報から、 適応策の 方向性を 整理

各課の取組を吸い上げ・集約

実施中の取組を適応策として認知
新たな取組検討のきっかけづくり

庁内コミュニケーションシート

農業

市内農業は、(例)「農林水産、経済産業、農林、建設、下水道処理、農林水産部、山崎 心と」

関係者は、(例)「農林水産、経済産業、農林、建設、下水道処理、農林水産部、山崎 心と」

関係者による情報収集、関係者との関係づくり、関係者との関係づくり、関係者との関係づくり

課題	現状	課題	現状
1
2
3
4
5

自然災害・沿岸域

市内内閣府部局(例)「危機管理課、土木部、建設部、下水道処理部、農林水産部、山崎 心と」

関係者は、(例)「危機管理課、土木部、建設部、下水道処理部、農林水産部、山崎 心と」

関係者による情報収集、関係者との関係づくり、関係者との関係づくり、関係者との関係づくり

課題	現状	課題	現状
1
2
3
4
5

令和 5年 3月
環境省

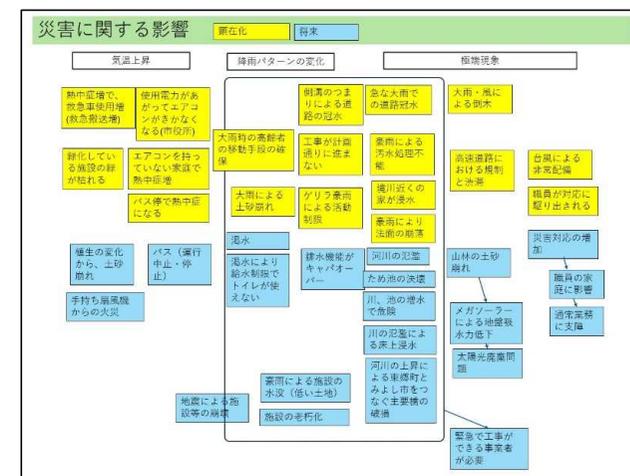
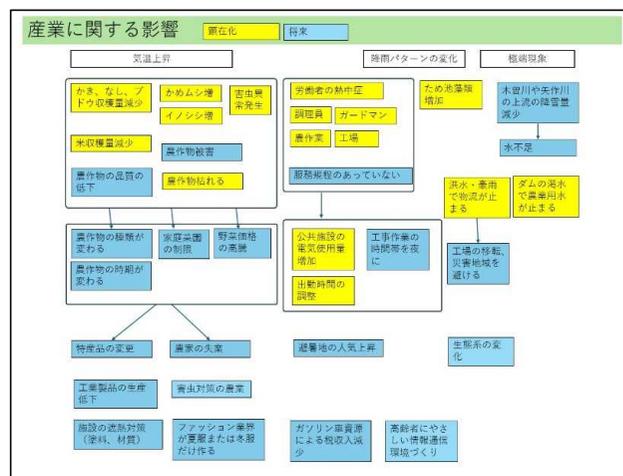
職員向け研修（グループワーク）の実施 ⇒本市における気候変動の影響や取組内容について考える。



専門講師によるご講演
(中部地方環境事務所様ご協力)



職員による発表



職員がグループワークで作成したインパクトチェーン（抜粋）

参加者

- ◆ 20代～30代前半の主査級・主事級職員
- ◆ 25課より1名ずつ参加



- ◆ 現場に近い「若手職員」の目線で洗い出し
⇒よりリアルな影響・課題・取組を抽出
- ◆ 他分野の取組を知るきっかけ
⇒他課の取組を知ることで、連携を模索

気候変動適応計画における「重点分野・項目」の選定 ⇒本市の地域性を踏まえた重点取組を設定する。

本市が重点的に取り組む分野・項目

本市の地域特性を考慮して気候変動への適応を進めていくにあたって、次の3つの観点から、本市が今後、重点的に取り組む分野・項目を選定しました。

- ア 国の「気候変動影響評価報告書」において、「重大性」、「緊急性」、「確信度」が特に大きい、あるいは高いと評価されており、本市に存在する分野・項目
- イ 本市において、気候変動によると考えられる影響がすでに生じている、あるいは本市の地域特性を踏まえて重要と考えられる分野・項目
- ウ 令和6(2024)年度に実施した本市職員によるワークショップにおいて、気候変動による影響が大きい、あるいは取り組むことが重要と意見が出された分野・項目

選定結果は、次のとおりとなります。  **本市独自の観点（職員の声を反映）**

- 【重大性】 ○：特に重大な影響が認められる ◇：影響が認められる -：現状では評価できない
- 【緊急性】 ○：高い △：中程度 □：低い -：現状では評価できない
- 【確信度】 ○：高い △：中程度 □：低い -：現状では評価できない

分野	大項目	小項目	国（県）の評価			選定理由
			重大性	緊急性	確信度	
農業・林業・水産業	農業	水稻	○	○	○	ア・イ・ウに該当
		果樹	○	○	○	ア・イ・ウに該当
自然災害	河川	洪水	○	○	○	ア・ウに該当
		内水	○	○	○	ア・ウに該当
健康	暑熱	熱中症等	○	○	○	ア・ウに該当

重点取組に設定した項目は、

「今後の方向性（短期・中長期の取組）」を記載



分野① 農業・林業・水産業

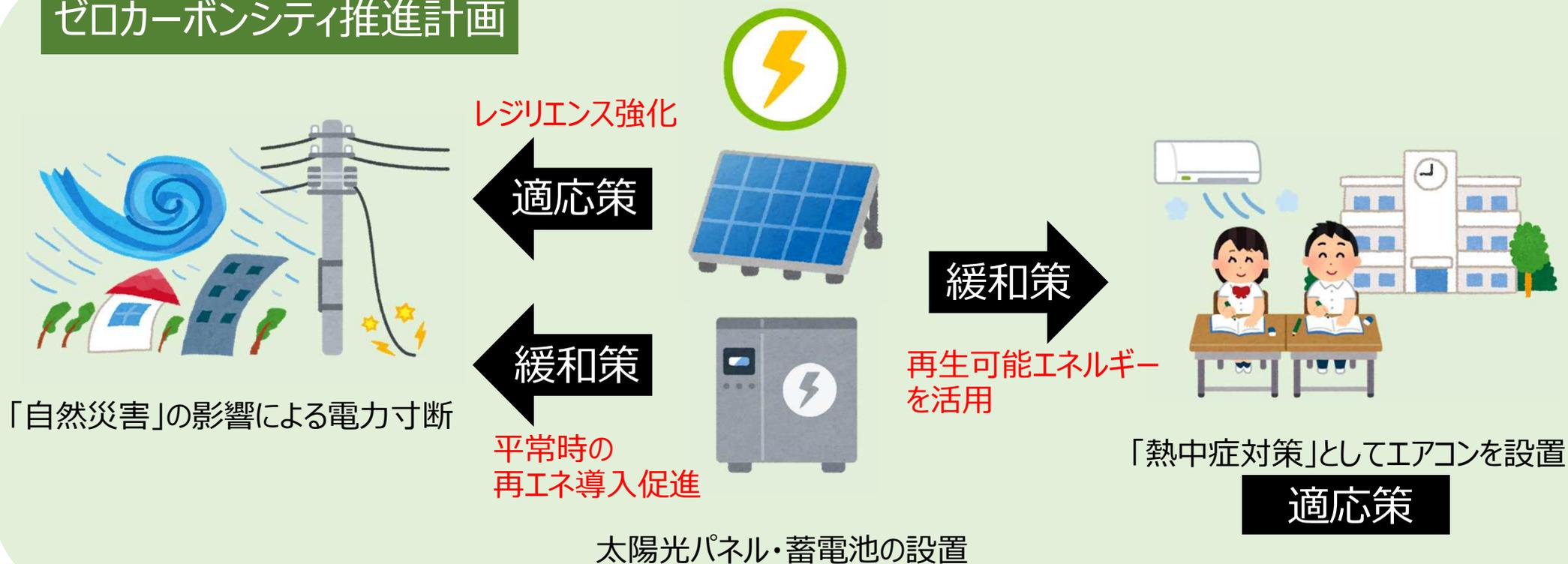
今後の方向性（重点取組）

【「水稻」および「果樹」に関する適応策の取組方針】

短期的な取組	中長期的な取組
<ul style="list-style-type: none"> ◆顕在化する課題について、引き続き、「みよしの農業ふるさと活性化推進協議会」などを活用し、市や農家などの関係者と気候変動による影響について情報を共有する。 ◆現在実施している取組の実態と効果について検討を行い、課題などを整理する。 ◆国が掲げる適応策の例を参考に、本市において適用できる適応策について検討する。 ◆新たに取り組むべきとした適応策の実施に必要な実施体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆国や県など農業関係者と連携して、年度ごとに収穫した農作物の収量や品質を分析し、適応策の効果、課題などを検証するとともに、改善方法について検討を行う。 ◆国や県などから情報を収集し、新たな技術や先進的な事例の取り入れについて検討を行う。

「緩和策」との関連付け
⇒「緩和」と「適応」に関する**一体的・横断的な計画**として策定する。

ゼロカーボンシティ推進計画



- ◆ 気候変動適応計画の策定は、各課の取組整理につながる。
⇒「**適応策**」として認知することで、**職員の共通理解が深まる。**
- ◆ 市の地域性をしっかり分析する。
⇒ 様々な分野の職員から課題や取組内容を聞くことで、
市にとって特に重要な分野・項目が見えてくる。
- ◆ 「地球温暖化対策実行計画（緩和策）」との整合性を図る。
⇒ 「緩和策」と整合を図ることで、**包括的な地球温暖化対策を実施**することができる。

ご清聴ありがとうございました。